

# 平成27年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般      マスタープラン：    3つの挑戦      施策番号：    7-2      局・課名：      財政局・収税課

<b>事業名</b>	市税のコンビニ等による収納業務	<b>事業費(千円)</b>	平成25年度決算額	平成26年度予算額	平成27年度要求額	
			30,457	34,256	34,894	
<b>事業概要</b>	<b>【目的】</b>	<b>債務負担行為</b>	期間		要求額(千円)	
	納税者のライフスタイルの多様化に対応するため、市税の納付方法を拡大し、納税者の利便性向上を図ることを目的とする。		H ~ H			
	<b>【内容】</b>	<b>主な要求内容</b> (単位:千円)				
	市では、納税者の利便性向上を図ることを目的に休日夜間を含め、24時間納付できる窓口を確保するため、コンビニエンスストアでの納付及び金融機関ATM、インターネットバンキング(パソコン)、モバイルバンキング(携帯電話)を利用したマルチペイメントネットワークによる納付を平成20年度から実施している。	項目	26年度予算	27年度要求額	内容・積算等	
	近年、単身世帯及び共働き世帯が増加していることから、納付環境の整備(納付方法の確保)は不可欠であり、当事業を継続実施するものである。	コンビニ収納代行手数料等	26,138	27,131		
	《対象税目》	金融機関収納手数料等	8,118	7,763		
	・軽自動車税					
	・市民税・府民税(普通徴収)					
	・固定資産税・都市計画税(土地・家屋)					
	<b>【今年度要求のポイント】</b>	合計	34,256	34,894		
コンビニエンスストア等での納付は、納税者の利便性向上の点から、有効な納付方法であると言えるが、反面、他の納付方法と比較して、徴税コストの負担が大きいのが現状である。現在の納付環境を維持しつつ、コスト削減及び口座振替加入促進施策による効果等を考慮し、要求額の積算を行った。	<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>					
	<b>【経過(～26年度)】</b>		<b>【27年度】</b>		<b>【今後予定(28年度～)】</b>	
	H19.4月 導入準備開始 H20.5月 コンビニ・金融機関ATM等での納付開始 H23.5月 金融機関ATM等での納付対象税目を拡大		事業の継続実施		事業の継続実施	
	<b>その他 特記事項</b>					
	関連事業:					

整理番号 : 05 - 3 - 0120